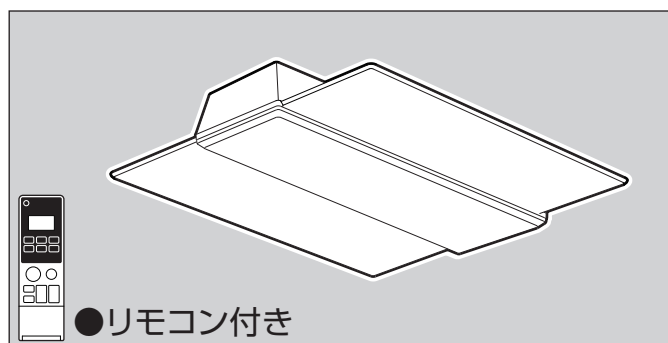


保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書



AIR PANEL LED

住宅用照明器具 (シーリングライト)

品番 LGC38200
LGC48200
LGC58200
LGC68200

もくじ

安全上のご注意	2
ご使用上に関するお知らせ	3
各部のなまえと付属部品	4
取り付け前のご確認	5
取り付け前の注意事項	5
照明器具を取り付ける	6
各部のはたらき	8
・リモコン受信器	8
・リモコンの準備	8
・リモコン	9
・リモコン操作時の音の消しかた	9
あかりをつける	10
・あかりシーンを切り替える	10
・常夜灯を点灯する	11
・壁スイッチで照明器具を操作する	11
おまかせモードとは	12
おまかせモードの設定	13
・おまかせモードの使いかた	13
・おまかせモードの設定時刻を変更する	14
リモコンの便利な使いかた	15
・複数のリモコン照明器具を操作する	15
・おやすみタイマーの使いかた	15
・手元灯(橙)を操作する	15
るすばんモードとは	16
るすばんモードの設定	16
・るすばんモードの使いかた	16
・るすばんモードの設定時刻を変更する	16
照明器具を取り外す	17
故障かな?と思ったら	18
お手入れについて	19
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

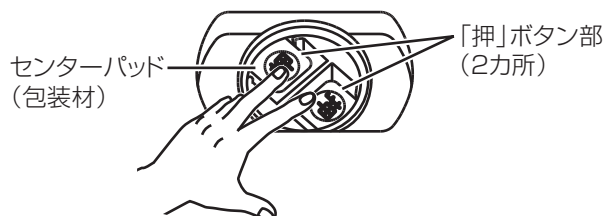
工事店様へ

- この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- 施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
- また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

施工前に必ず器具を底板(包装材)から取り外してください。

器具を底板から取り外す方法

- ①器具のカバーを外す
⑦ページ「カバーの外しかた」参照
- ②器具中心部のセンターパッド(包装材)の「押」ボタン部(2カ所)を押しながら本体を持ち上げる



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



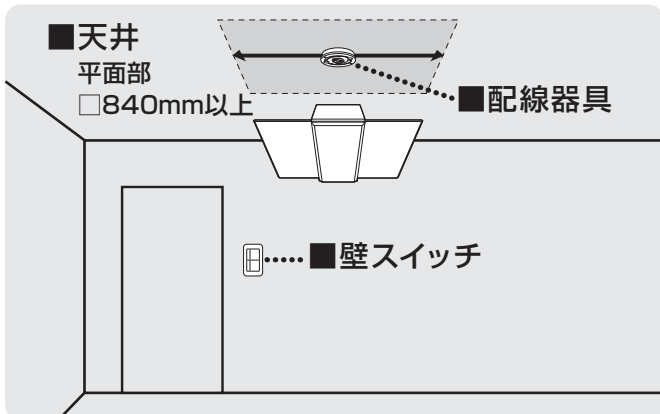
してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



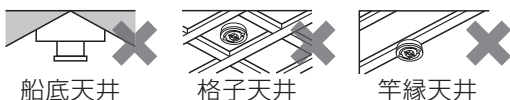
■天井



必ず守る

- 必ず上図のような平面部が
□840 mm 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

- 凹凸のある場所に取り付けけない
落下によるけがのおそれがあります。



禁止

- 補強のない場所 (ベニヤ板や石こうボードなど) に取り付けけない
落下によるけがのおそれがあります。

- 傾斜した場所に取り付けけない
火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。



禁止

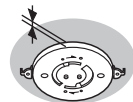
■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具 (ローゼット・引掛シーリング) には
取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 がたつき・破損

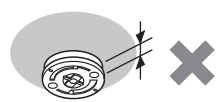
- 適正な状態にない配線器具には
無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。
内装材の重ね貼りなどにより出しりが小さくなったもの



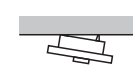
ローゼット10mm未満

斜めに取り付けられたもの



引掛シーリング19mm未満

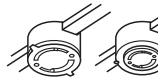
シーリングハンガーが取り付けられたもの



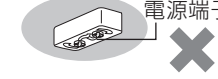
ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ



電源端子

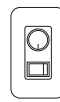


■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■その他



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口 (保証書内在中) にご相談ください。



必ず守る



必ず守る

- アダプタは確実に取り付け
落下してけがのおそれがあります。

- 本体は確実に取り付け
破損して感電のおそれがあります。

- 本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける。落下してけがのおそれがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。
- ◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない。火災、感電の原因となることがあります。
- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない。火災の原因となることがあります。
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- リモコンのLED手元灯やカバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない。目の痛みの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
 - ・リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるさしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- LGC38200、LGC48200については、LEDの配置が異なるため一部光らないレンズがあります。
- キレイコートは経年劣化により、効果が多少減少します。(使用環境により程度は異なります)
- ☎ お手入れについては、19ページ「お手入れについて」参照

【リモコンの留意点】

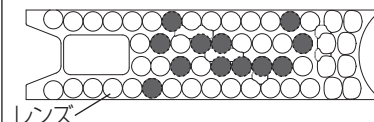
- リモコンの電池を取り外した場合、リモコンのチャンネルが初期設定に変わることがあります。その際は、リモコンのチャンネルを変更してください。
- ☎ 15ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順②参照
- リモコンの液晶が表示している場合でも、電池の消耗により照明器具の操作ができない場合があります。
- リモコンのボタン操作により液晶表示部がちらつく場合があります。
- リモコンは温度の高いところ、湿気の多いところで使用しないでください。水、コーヒー、ジュースなどをかけないでください。故障の原因となることがあります。

【周囲の影響】

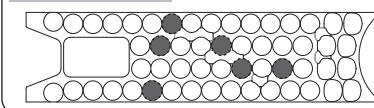
- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

レンズの●部分は、光りません。(下図はレンズの1/2を表しています)

LGC38200



LGC48200



各部のなまえと付属部品

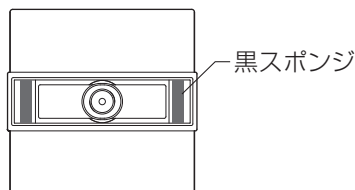
施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

アダプタ (1個)

本体

◎器具本体裏面に2カ所ついている黒スポンジは取らないでください。(本体回転防止のため必要です)



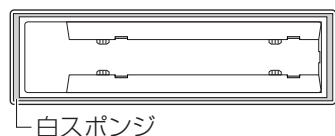
パネル

(裏面キレコート仕様)
キレコートについては、
19ページ
「お手入れについて」参照

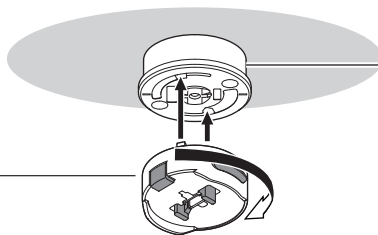
コネクタ

カバー

◎カバー裏面の周囲についている白スポンジは取らないでください。(カバーと本体の間にスキマが空いて光もれなどの原因となります。)



配線器具



リモコン受信器

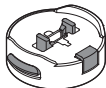
常夜灯

LED

本体取り付け用 付属部品

アダプタ (1個)

補修品番
NZ2717M



配線器具

丸型フル引掛シーリング
(1個)



●配線器具がない、または交換が必要な場合にお使いください。

引掛シーリング用

木ネジ (2本)



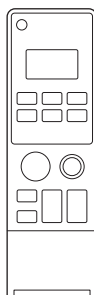
リモコン付属部品

リモコン (1個)

補修品番:HK9800MM

☞ 操作方は、
8~16ページ参照

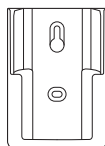
液晶面とフタに保護シートを貼付していますので、はがしてご使用ください。



単3形
乾電池
(2本)



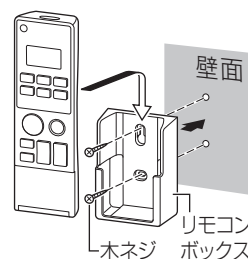
リモコン
ボックス (1個)



リモコン
ボックス用
木ネジ (2本)



●リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。

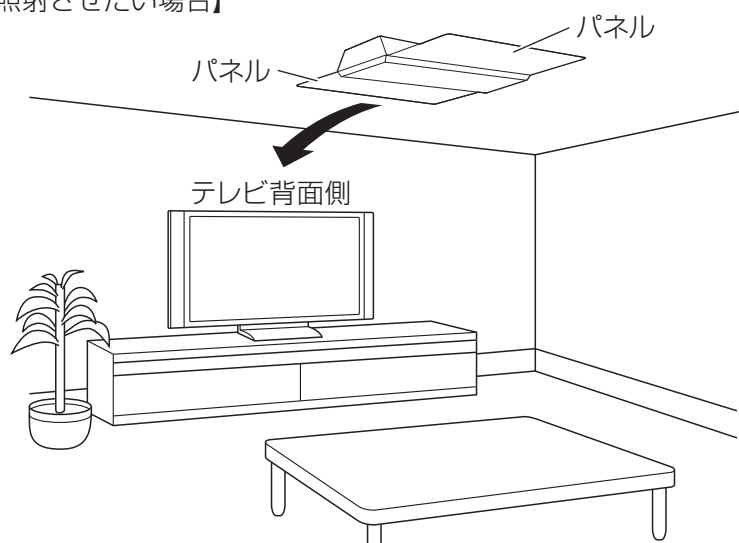


取り付け前のご確認

■ 取り付け方向について

照射させたい方向(パネルの方向)をあらかじめ決めておいてください。

【例：テレビ背面側を照射させたい場合】

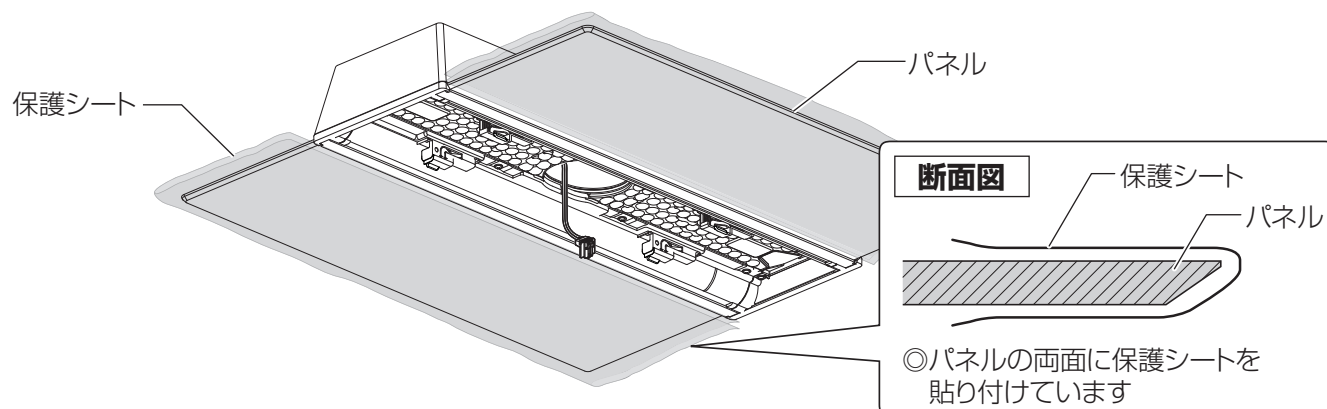


取り付け前の注意事項

■ 保護シートについて

保護シートは、器具を天井に取り付けてからはがしてください。

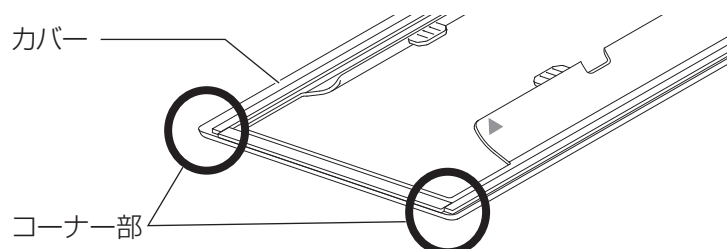
- ・ パネルは指紋などが付着しやすいため、器具を天井に取り付けてから保護シートをはがしてください。



■ カバーの取り扱いについて

カバーに衝撃を与えないでください。割れや欠けの原因となります。

- ・ 特にカバーのコーナー部は衝撃に弱いため取り扱いには十分ご注意ください。



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

◎必ず壁スイッチを設けてください。

☞ 3ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎ローゼットへの取り付けで取付金具（ハンガー）部に既設器具などのネジが付いている場合は取り外してください。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

◎工事には資格が必要です。

天井からの出しりが22 mmの配線器具

丸型フル引掛シーリング

WG5005 WG5015

丸型引掛シーリング

WG4000 WG4420
WG4425 WG1500

フル引掛ローゼット

WG6005

角型引掛シーリング

WG1000

天井からの出しりが11 mmの配線器具

引掛埋込ローゼット

WG6000 WG6420 WG6130

引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

WG6001WK

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

引掛刃（2カ所）を配線器具のスライド穴に入れる

②カチッと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

確認

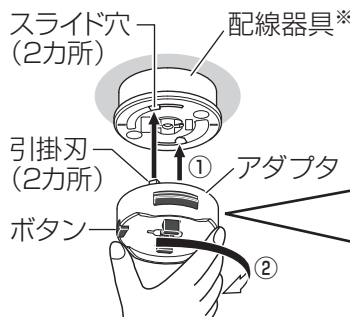
ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する



警告

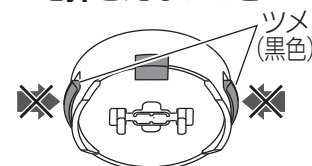


アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



※：代表例を表示しています

× アダプタのツメ（黒色）を押さえないこと



アダプタのツメを押さえた状態では取り付けできません

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

①本体中心にセンターパッドが取り付いていないか確認する

→ 取り付いている場合は、取り外す

☞ 表紙「器具を底板から取り外す方法」参照

②パネルを照射させたい方向に向ける

③アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

◎配線器具により本体の取付位置が異なります。

右記を参考に押し上げてください。

◎本体を水平にし、均等に押し上げてください。

◎器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

→ 取り付けできない場合は、

(1) アダプタを外す

☞ 17ページ「照明器具を取り外す」手順 3 参照

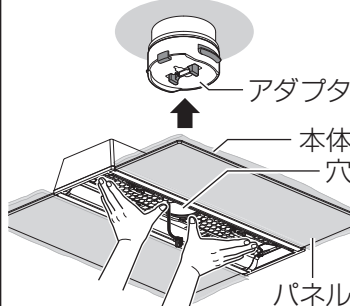
(2) 再度、手順 2 を行う



警告



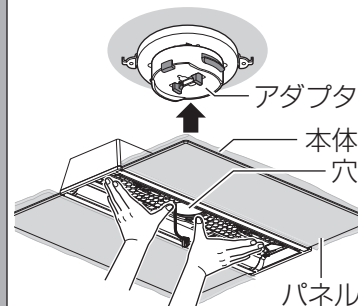
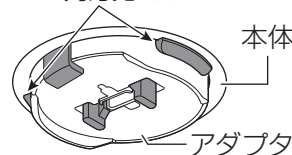
本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



カチッ、カチッと
2度、音がするまで
押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

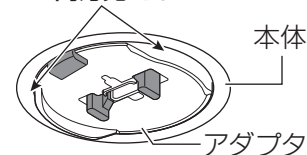
アダプタのツメ（黒色）が
両方見える



カチッと1度、音が
するまで押し上げる

アダプタの本体取り付け位置

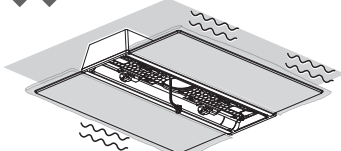
アダプタのツメ（黒色）が
両方見えない



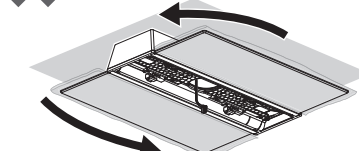
4 本体が正しく取り付けられているか確認する

本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する

× 本体がグラグラする



× 本体が簡単に回転する

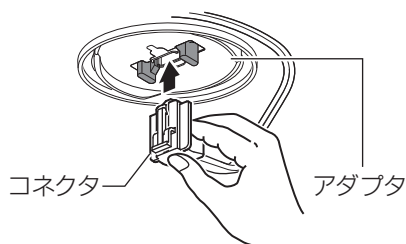


上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。



5 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタをアダプタに
確実に差し込む

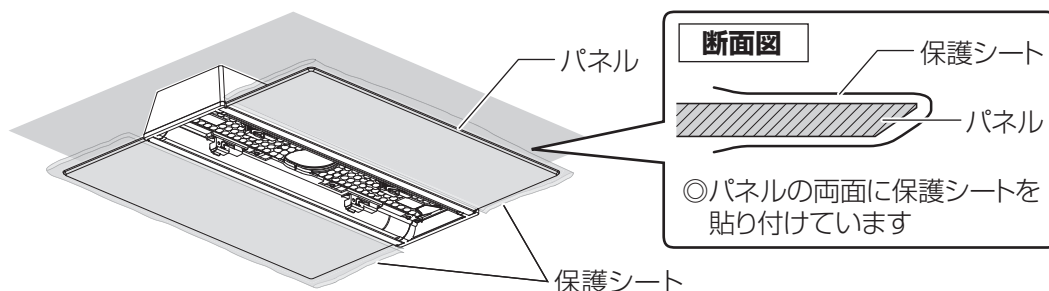


確認

- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順 **3** に戻る。
- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して（**17**ページ「照明器具を取り外す」手順 **1** 参照）本体を押し上げる（**16**ページ手順 **3** 参照）

6 パネルの保護シートを全部はがす

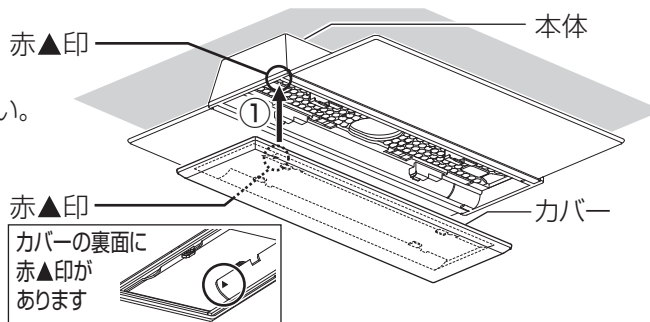
ゆっくりとていねいに、保護シートを全部はがす



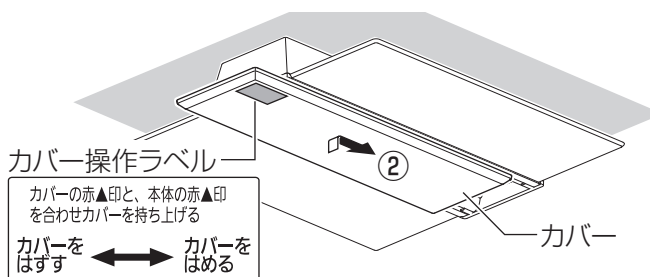
7 カバーを取り付ける

◎カバー裏面の周囲についている
白スポンジは取り外さないでください。
光もれなどの原因となります。

- ① カバーの赤▲印と
本体の赤▲印を合わせ
カバーを持ち上げる



- ② カバーを軽く押しながら
カバー操作ラベルの
「カバーをはめる」方向に
スライドさせて取り付ける



確認

- カバーが傾いていないか、
パネルとの間にすき間が空いて
いないか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が
空いている場合は、カバーの
凸部が本体の受け具にはまっていない可能性があります。
カバーを外して、再度、手順 **7** を行う



⚠ 注意

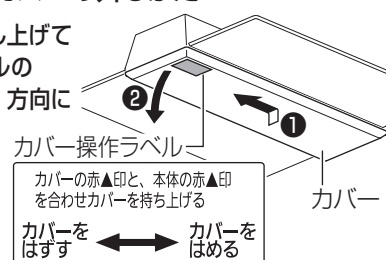


カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

- ① カバーを軽く押し上げて
カバー操作ラベルの
「カバーをはすず」方向に
スライドさせて

- ② 外す

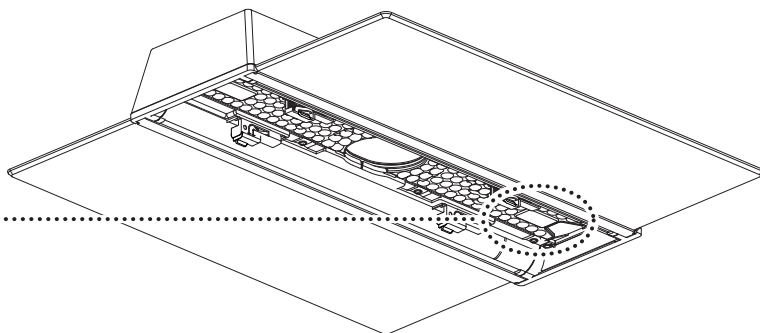
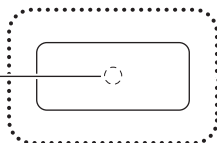


各部のはたらき

リモコン受信器 (本体)

リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
◎傷つけたり、汚したりしないでください。

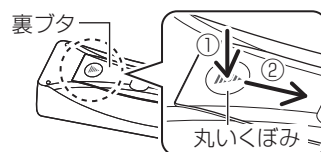


リモコンの準備

●リモコンの裏ボタンを開けて、単3形乾電池を2本入れる。

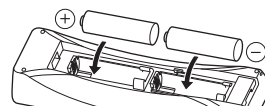
1 リモコンの裏ボタンを開ける

- ①裏ボタンの丸いくぼみを押しながら
- ②スライドさせて開ける



2 単3形乾電池を2本入れる

乾電池の⊕⊖を正しく入れる



3 裏ボタンをスライドさせて閉める



●リモコンの現在時刻を設定する

お買い上げ時や電池交換時の設定のしかた

現在 00:00 時刻が点滅している場合

右記手順④から設定を行う

現在時刻を変更する場合

0:00 時刻が点滅していない場合

右記手順②から設定を行う

メモ

- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をONにするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。
- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの状態では、現在時刻の変更はできません。

1 リモコンのフタを開ける

2 リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す

現在が点滅する
(おまかせとるすばんは点灯)

3 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

現在 0:00 現在時刻が点滅する

4 リモコンの「↑↓ボタン」を押して現在時刻を合わせる

5 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

12:34 現在時刻が点滅から点灯に変わり設定完了

6 リモコンのフタを閉じる

リモコン
(フタを開けた状態)



リモコン (フタを開けた状態)

リモコン送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。

白い色ボタン

LEDが昼光色6500K※、明るさ約90%で点灯
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

全灯ボタン

LEDが昼光色約6200K※、明るさ100%で点灯
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

パネルボタン

パネル光が電球色2700K※、明るさ100%～約5%、パネル1枚または2枚で点灯(初期設定:明るさ100%、パネル2枚点灯)
☞ 11ページ「あかりシーンを切り替える」参照

センターボタン

センター光が電球色2700K※、明るさ100%～約5%で点灯(初期設定:明るさ100%)

☞ 11ページ「あかりシーンを切り替える」参照

点灯・普段ボタン

普段のあかりで点灯
(初期設定:昼白色5000K※、明るさ約70%)
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

常夜灯ボタン(蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで調節した明るさで点灯
(初期設定:明るさ100%)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 11ページ「常夜灯を点灯する」参照

手元灯ボタン(蓄光)

ボタンを押している間はLED手元灯が点灯
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 15ページ「手元灯(橙)を操作する」参照

おやすみタイマーボタン

☞ 15ページ「おやすみタイマーの使いかた」参照

送信部1

送信部2

LED手元灯(橙)

手元灯ボタンを押している間はLED手元灯が点灯

暖かい色ボタン

LEDが電球色2700K※、明るさ約50%で点灯
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

おまかせボタン

おまかせモードを開始
☞ 13ページ「おまかせモードの使いかた」参照

消灯ボタン

調色ボタン

LEDの光の色を昼光色から電球色まで連続で調節
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

明暗ボタン

LED(100%～約5%)、常夜灯(6段階)の明るさを調節
☞ 10～11ページ「あかりシーンを切り替える」参照
11ページ「常夜灯を点灯する」参照

るすばんボタン

☞ 16ページ「るすばんモードの使いかた」参照

時刻設定ボタン

現在:おまかせモード・るすばんモードの時刻を設定
☞ 8ページ「リモコンの準備」参照
14ページ「おまかせモードの設定時刻を変更する」参照
16ページ「るすばんモードの設定時刻を変更する」参照

△Vボタン

現在:おまかせモード・るすばんモードの選択、時刻を変更
☞ 8ページ「リモコンの準備」参照
14ページ「おまかせモードの設定時刻を変更する」参照
16ページ「るすばんモードの設定時刻を変更する」参照

フタ

フタを開けて、時刻設定やチャンネル切替を行います。

チャンネルボタン

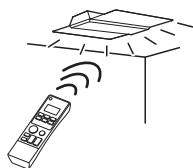
操作する器具のチャンネル(1～3)を設定
(初期設定:チャンネル1)
☞ 15ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

※:K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

送信のしかた 必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。

●通常の点灯・消灯の場合

「送信部1」を器具に向けて操作する。



●「おまかせモード」「るすばんモード」「おやすみタイマー」を使用する場合

寝かせた状態で点灯・消灯することを確認する。



リモコン操作時の音の消しかた

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

1



リモコンのフタを開けて
「リモコン送信部」を器具に向ける

2



リモコンの「点灯・普段ボタン」と
「チャンネルボタン」を同時に押す

メモ リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

あかりをつける

あかりシーンを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンで6つのあかりシーンが選べます。

6つのあかりシーン

普段のあかり、全灯、白い色、暖かい色、センター光、パネル光

点灯
普段

全灯

白い色

暖かい色

「センター光」+「パネル光2枚」が点灯



リモコン

全灯

白い色

暖かい色

パネル

センター

おまかせ

自動光色変化

点灯
普段

消灯

常夜灯

白い色

明るい

手元灯

暖かい色

暗い

メモ

- 普段のあかり、白い色、暖かい色で変更した明るさ、光の色は普段のあかりに記憶されます。
- センター光、パネル光で変更した明るさは記憶されます。

白い色

昼光色

「白い色ボタン」を押すと、白い色(昼光色6500K※、明るさ約90%)で点灯

全灯

文字くっきり光

「全灯ボタン」を押すと、文字くっきり光(昼光色約6200K※、明るさ100%)で点灯(調光操作をしても記憶しません。調色操作はできません。)

【文字くっきり光とは】

文字が見やすい「色温度(約6200K※)」と「明るさ」で、小さな文字もくっきり見えるあかりです。読書や勉強などにおすすめです。

暖かい色

電球色

「暖かい色ボタン」を押すと、暖かい色(電球色2700K※、明るさ約50%)で点灯

点灯
普段

普段のあかり

「点灯・普段ボタン」を押すと、左図の範囲内であらかじめ設定した明るさ、光の色で点灯(初期設定:昼白色5000K※、明るさ約70%)

■ 普段のあかりを調光、調色して記憶させる

1

点灯
普段

リモコンの「点灯・普段ボタン」を押して普段のあかりを点灯させる

2

白い色
暖かい色

明るい
暗い

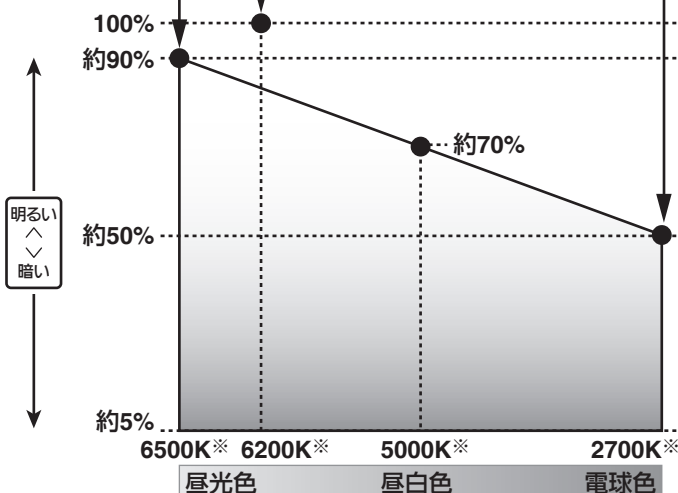
リモコンの「明暗ボタン」「調色ボタン」で明るさ、光の色を調節する

➡ 明るさ、光の色は記憶されます。

メモ

- LEDの明るさ、光の色を調節すると、その都度記憶します。
- 「白い色ボタン」「暖かい色ボタン」を押して、上記手順②の操作をした場合も「点灯・普段ボタン」に記憶されます。

「明暗ボタン」で明るさを調節



「調色ボタン」で光の色を調節

※: K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。



センター

センター光(電球色2700K※、設定した明るさ)のみで点灯

食卓やリビングテーブルにあかりだまりをつくります



◎ 明るさ調節できます。
(初期設定: 明るさ100%)

1

センター

リモコンの「センターボタン」を押してセンター光を点灯させる

2

明るい
↑
暗い

リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節する

▶ 明るさは記憶されます。



「調色ボタン」は、動作しません。

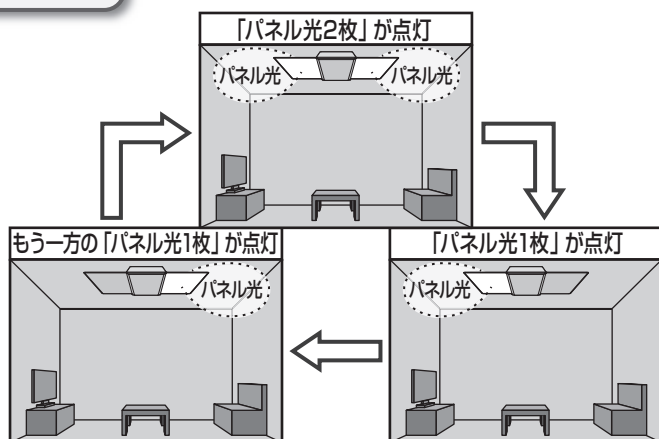
メモ

センター光は、電球色2700K※で100%～約5%の明るさ調節可能

パネル

パネル光(電球色2700K※、設定した明るさ)のみで点灯

天井面をほんのりと照らしくつろぎ感を深めます



リモコンの「パネルボタン」を押すごとに点灯パターンを切り替えます
◎ 明るさ調節できます。(初期設定: 明るさ100%、パネル光は2枚点灯)

1

パネル

リモコンの「パネルボタン」を押してパネル光を点灯させる

リモコンの「パネルボタン」を押すごとにパネル光の点灯パターンを切り替える

▶ 点灯パターンは記憶されます。

2

明るい
↑
暗い

リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節する

▶ 明るさは記憶されます。



「調色ボタン」は、動作しません。

メモ

パネル光は、電球色2700K※で100%～約5%の明るさ調節可能

常夜灯を点灯する

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

1

常夜灯

リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる

2

明るい
↑
暗い

リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する

▶ 明るさは記憶されます。

メモ

- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
- 常夜灯はアンバー（橙）色で点灯します。
- 常夜灯は調色できません。

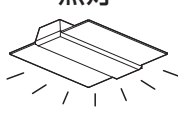
壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

壁スイッチ ON



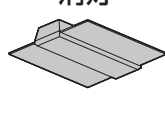
点灯



壁スイッチ OFF



消灯



記憶している前回の「あかりシーン」で点灯します

今回の「あかりシーン」を記憶して消灯します

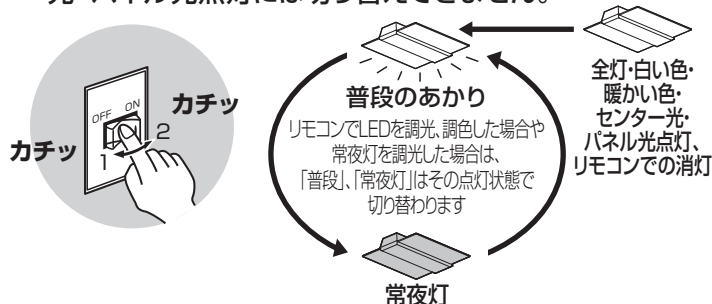
- 「おまかせモード」状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときもOFF前の点灯状態で点灯します。(リモコンの「おまかせモード」がONであれば「おまかせモード」は継続します。)
- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

注意

壁スイッチを素早く操作すると点灯状態が切り替わります。
☞ 右記「点灯状態を切り替える」参照

点灯状態を切り替える

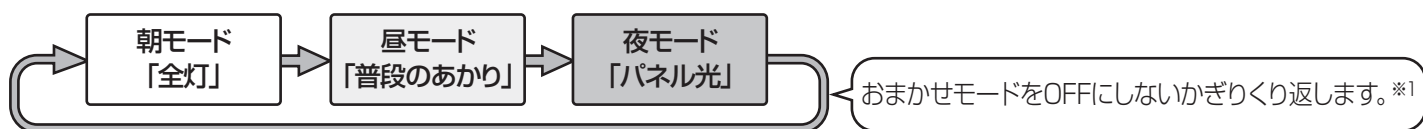
壁スイッチを素早く(約1秒以内) OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。ただし、全灯・白い色・暖かい色・センター光・パネル光点灯には切り替えできません。



- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

おまかせモードとは

設定時刻になると、自動であかりのシーンが切り替わり、生活リズムを整える環境を作ります。



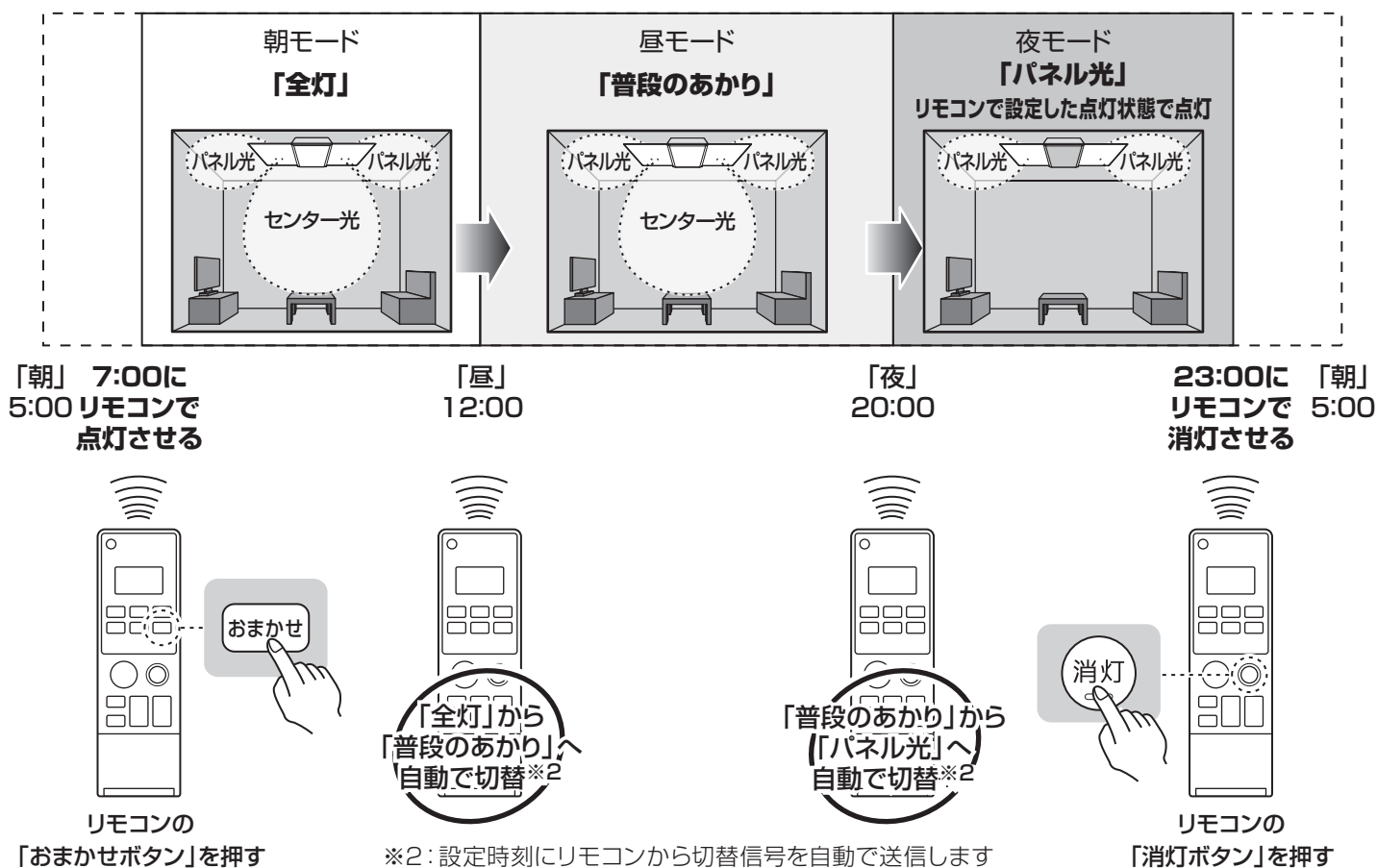
※1: 消灯または、常夜灯が点灯している場合は、自動切替をしません。

動作イメージ

たとえば・・・7:00に点灯、23:00に消灯させる場合

あかりの切替時刻の初期設定時刻	
「朝モード」	5:00 「全灯」へ切り替わる時刻
「昼モード」	12:00 「普段のあかり」へ切り替わる時刻
「夜モード」	20:00 「パネル光」へ切り替わる時刻

●初期設定時刻を変更する場合は、
14ページ「おまかせモードの
設定時刻を変更する」参照



おまかせモードの使いかた

■ おまかせモードをONにする

1

おまかせ

リモコンの「おまかせボタン」を押す

▶ 予め設定した時刻に応じた明るさ、光の色で照明器具が点灯します。

5:00
おまかせ 朝
「朝モード」の切替時刻が表示される
(初期設定:(朝)5:00)

約2秒後

12:00
おまかせ 昼
「昼モード」の切替時刻が表示される
(初期設定:(昼)12:00)

約2秒後

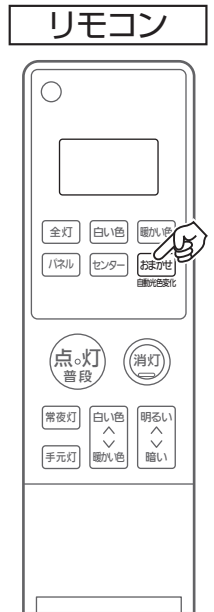
20:00
おまかせ 夜
「夜モード」の切替時刻が表示される
(初期設定:(夜)20:00)

約2秒後

12:34
おまかせ 昼
現在時刻に表示が切り替わり、
時間に応じたモードが表示される

メモ

- 「普段のあかり」は、リモコンで設定した明るさ、光の色で点灯します。
- 「パネル光」は、リモコンで設定した明るさ、点灯パターンで点灯します。
- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」が同時刻に設定された場合、「おやすみタイマー」、「るすばんモード」、「おまかせモード」の順に設定が優先されます。

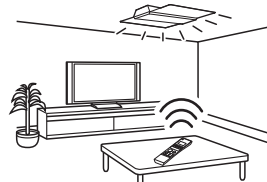


2

操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く

▶ 設定した時刻になると、自動であかりシーンが切り替わります。

メモ 消灯または、常夜灯が点灯している場合は、自動であかりシーンは切り替わりません。



■ おまかせモードをOFFにする

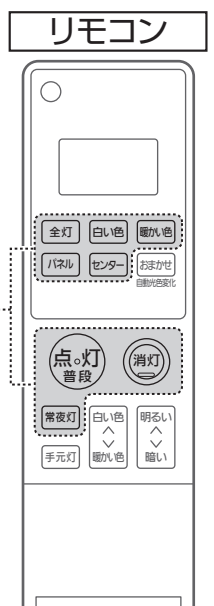
リモコンの「全灯」、「白い色」、「暖かい色」、「パネル」、「センター」、「点灯・普段」、「消灯」、「常夜灯」のいずれかのボタンを押す

▶ リモコンの液晶パネルの「おまかせ」の表示が消え、押したボタンに応じた点灯状態に切り替わります。

メモ

- 「おまかせモード」は、OFFにしないかぎり「朝モード」・「昼モード」・「夜モード」をくり返します。
例)「朝モード」・「夜モード」の時間帯に壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF → ONにした場合は、「普段のあかり」に切り替わりますが、次のモード切替時刻でそのモードに応じた点灯状態に切り替わります。(「昼モード」の時間帯の場合は、壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF → ONにすると「常夜灯」に切り替わりますので、次のモード切替時刻になっても点灯状態は切り替わりません。)
- 壁スイッチをOFFにした場合、次にONしたときはOFF前の点灯状態で点灯しますので、「朝・昼・夜モード」の時間帯がずれる場合があります。その場合は、もう一度「おまかせボタン」を押して、時間帯に合った点灯状態にしてください。(押さなかった場合は、次のモード切替時刻で時間帯にあった点灯状態に自動切替します。)
例)「夜モード」時に壁スイッチをOFF → 「朝モード」時間帯に壁スイッチをONにすると「夜モード」の「パネル光」で点灯します。その時にもう一度「おまかせボタン」を押すと、「朝モード」の「全灯」に切り替わります。(「おまかせボタン」を押さなかった場合、次の「昼モード」の切替時刻で「普段のあかり」に自動切替します。)

いずれか…を押す



おまかせモードの設定時刻を変更する

注意

「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの場合は、設定時刻の変更ができません。
「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFしてから変更を行ってください。

1 リモコンのフタを開ける

2 リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す



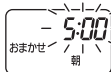
現在が点滅する
(おまかせと **るすばん** は点灯)

3 リモコンの「H/Vボタン」でおまかせに合わせる



おまかせが点滅する
(現在と **るすばん** は点灯)

4 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す



おまかせの朝時刻が点滅する
(初期設定: (朝) 5:00)

5 リモコンの「H/Vボタン」を押して朝時刻を変更する



- 時刻は10分刻みで設定できます。

6 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す



おまかせの昼時刻が点滅する(初期設定: (昼) 12:00)
→上記手順 **5** と同様に昼時刻の変更をする

メモ

他の時間帯と重複できません。

例) 朝時刻を5:00に設定した場合

→4:50(最短の夜時間: 朝時間のマイナス10分)、5:00は設定不可

7 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す



おまかせの夜時刻が点滅する(初期設定: (夜) 20:00)
→上記手順 **5** と同様に夜時刻の変更をする

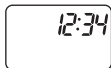
メモ

他の時間帯と重複できません。

例) 朝時刻を5:00、昼時刻を12:00に設定した場合

→5:00から12:00までは夜時刻の設定不可

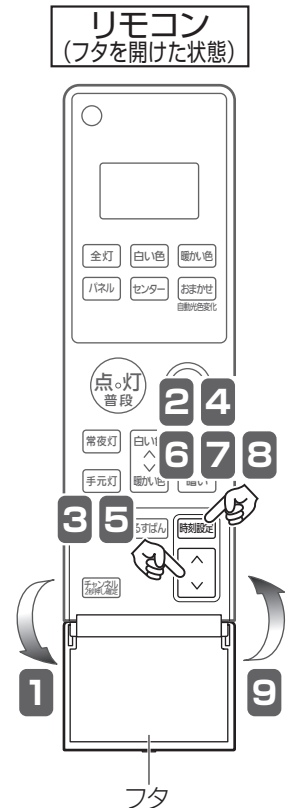
8 リモコンの「時刻設定ボタン」を押し時刻を決定する



現在時刻に切り替わり設定完了

- 「時刻設定ボタン」を押さないと約60秒で、前回の設定に戻ります。
- 一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

9 リモコンのフタを閉じる



リモコンの便利な使いかた

複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

●複数の器具を同時に点灯できます。

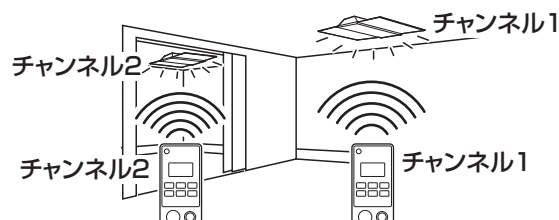
◎器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。

(例)一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



●近くの器具を別々に点灯できます。

(例)隣室にもリモコン照明器具がある場合



- 1 壁スイッチON **チャンネル設定を行う器具(1台)のみを壁スイッチONにする**
(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※)

- 2 **リモコンのフタを開けて「チャンネルボタン」を押し希望のチャンネル(CH1~3)に合わせる**
現在設定されているチャンネルが表示されます。
その後、押すごとにCH1→CH2→CH3と切り替わります。
(最後に操作してから約3秒後に表示は消えます。)

- 3 (リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて)
チャンネルが表示中にもう一度「チャンネルボタン」を2秒以上押す
→「ピピーッ」と音がして設定完了

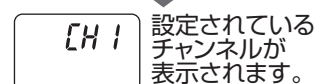
※:周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

メモ

- 本製品以外の照明を操作する場合は、ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンの「全灯」「白い色」「暖かい色」「パネル」「センター」「おまかせ」「常夜灯」「点灯・普段」「消灯」「調色」「明暗」のいずれかのボタンを押している間は、現在設定されているチャンネルが表示されます。



いずれかのボタンを押している間は



設定されているチャンネルが表示されます。

おやすみタイマーの使いかた

おやすみタイマーを使用するには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。☞ 8ページ「リモコンの準備」参照

おやすみタイマーをONにすると、30分または60分後に自動消灯を行います。

■ おやすみタイマーをONにする

- 1 **リモコンのフタを開けて「おやすみタイマーボタン」を押し希望のタイマーを選択する**
(30分後消灯) (60分後消灯) (未設定・OFF)
30 おやすみ → 60 おやすみ → 12:34
押すごとに表示が切り替わります。

- 2 **リモコンのフタを開けてリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く**
☞ 9ページ「送信のしかた」参照

メモ リモコンのタイマー時間表示は、1分刻みで減っていきます。

■ おやすみタイマーをOFFにする

リモコンの液晶パネルに「おやすみ」の表示があるときに

- 1 **リモコンのフタを開けて「おやすみタイマーボタン」を押す**

→ リモコンの液晶パネルの「おやすみ」の表示が消え、「おやすみタイマー」がOFFする

メモ

- リモコンの「消灯ボタン」を押して消灯させた場合も「おやすみタイマー」はOFFされます。
- 「おやすみタイマー」設定時間経過後、タイマー時間表示は消え、その「おやすみタイマー」はOFFされます。

手元灯(橙)を操作する

いざという時に便利な手元灯付き

手元灯

リモコンの「手元灯ボタン」を押している間、LED手元灯が点灯



注意

ひんぱんに手元灯を使用すると電池寿命が短くなります。

るすばんモードとは

リモコンで留守中に在宅を装う「るすばんモード」をONにしておくと照明器具が自動的に点灯/消灯します。
(本商品で家宅への侵入や盗難を確実に阻止することはできません。)

るすばんモードのはたらき

- 「るすばんモード」をONにすると、留守中に照明器具が自動で点灯・消灯し、在宅を装います。

(例)初期設定

昼間は消灯



17:00になると

自動で点灯



23:00になると

自動で消灯



- るすばんモードはOFFにするまで毎日繰り返します。在宅を装うため、点灯・消灯時刻は「設定通り」、「15分前」、「30分前」の3パターンでランダムに変わります。(設定日は「設定通り」で動作します)

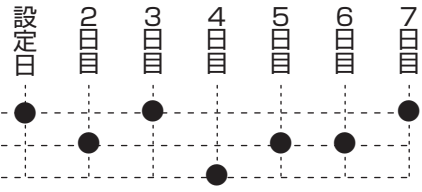
(例)

点灯・消灯時刻

設定通り

15分前

30分前



るすばんモードの設定

るすばんモードの使いかた

るすばんモードをONにする

- 注意** るすばんモードをONにするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。☞ 8ページ「リモコンの準備」参照

1

るすばん

リモコンのフタを開けて「るすばんボタン」を押す

17:00
点灯
るすばん

約2秒後

23:00
消灯
るすばん

約2秒後

12:34
るすばん

るすばん、点灯時刻が表示される
(初期設定:(点灯)17:00)

るすばん、消灯時刻が表示される
(初期設定:(消灯)23:00)

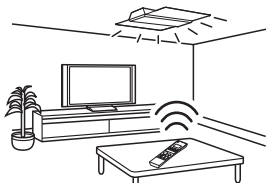
るすばん、現在時刻に表示が切り替わり、るすばんモードがセットされる

メモ

- るすばんモードは「普段のあかり」の明るさで点灯します。
- 「るすばんモード」、「おまかせモード」、「おやすみタイマー」が同時に設定された場合、「おやすみタイマー」、「るすばんモード」、「おまかせモード」の順に設定が優先されます。

- 2

リモコンのフタを閉めて操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く



メモ

壁スイッチOFFでは、「るすばんモード」は動作しません。お出かけの際に照明器具をOFFする場合は、リモコンで操作してください。

るすばんモードをOFFにする

リモコンの液晶パネルに「るすばん」の表示があるときに

るすばん

リモコンのフタを開けて「るすばんボタン」を押す

- ➔ リモコンの液晶パネルの「るすばん」の表示が消え、「るすばんモード」がOFFする

るすばんモードの設定時刻を変更する

- 注意** 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの場合は、設定時刻の変更ができません。「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFしてから変更を行ってください。

1

時刻設定

リモコンのフタを開けて「時刻設定ボタン」を2秒以上押す

現在
おまかせ
るすばん

現在が点滅する
(おまかせとるすばんは点灯)

2

時刻設定

リモコンの「△▽ボタン」で「るすばん」に合わせる

現在
おまかせ
るすばん

るすばんが点滅する
(現在とおまかせは点灯)

3

時刻設定

リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

17:00
点灯
るすばん

点灯時刻が点滅する

4

時刻設定

リモコンの「△▽ボタン」で点灯時刻を変更する

●点滅している時に、時刻の変更ができます。

●点灯時刻は30分刻みで設定できます。

5

時刻設定

リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

23:00
消灯
るすばん

消灯時刻が点滅する

6

時刻設定

リモコンの「△▽ボタン」で消灯時刻を変更する

●点滅している時に、時刻の変更ができます。

●消灯時刻は30分刻みで設定できます。

7

時刻設定

リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

➔ 時刻の変更が完了する

●「時刻設定」を押さないで約60秒で、前回の設定に戻ります。

●一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

メモ

「点灯」と「消灯」の同時刻設定はできません。

16

LGC38200 - T3E

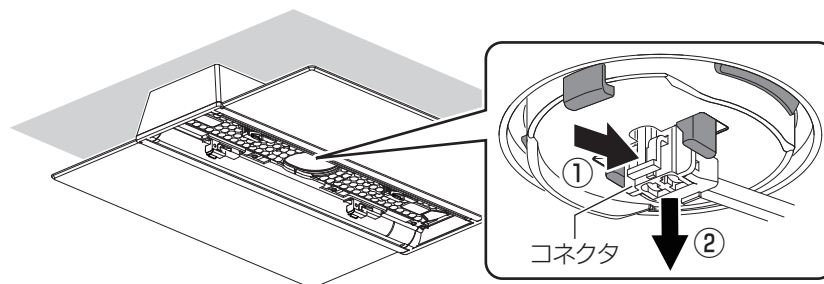
照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

カバーの外しかたは、 7ページ「照明器具を取り付ける」手順⑦の「カバーの外しかた」を参照してください。

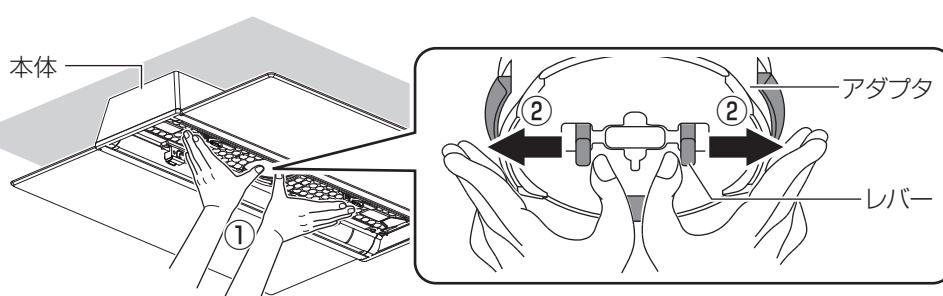
1 コネクタを外す

- ① つまみながら
- ② 引いて、外す

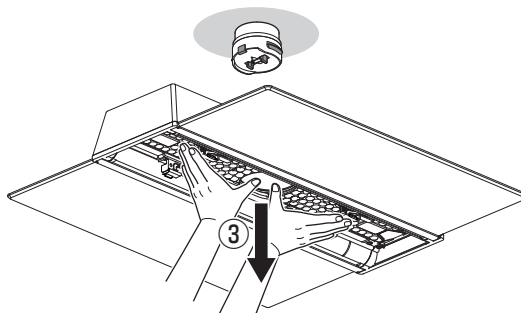


2 本体を外す

- ① 本体が落ちないようにしっかりと支え
- ② アダプタのレバーを矢印の方向(左右)に広げたまま

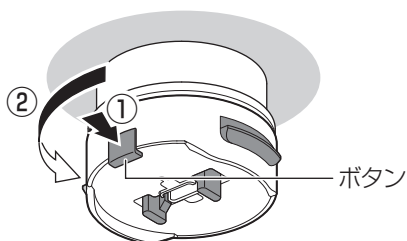


- ③ 本体をゆっくりと下げて、外す



3 アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す



故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
本体が取り付けられない	アダプタが正しく取り付けしていない	①アダプタを外し……………④ 17ページ③ ②再度、アダプタを取り付ける……………④ 6ページ②	
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、……………④ 17ページ① ②本体を押し上げてから……………④ 6ページ③ ③コネクタを再度、差し込む……………④ 7ページ⑤	
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしている	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	11ページ ④「壁スイッチで照明器具を 操作する」
勝手に点灯、消灯する	「るすばんモード」がONになっている	「るすばんモード」をOFFにする	④ 16ページ 「るすばんモードの使いかた」
	非常に短い停電などにより壁スイッチ 機能がはたらき、点灯状態が切り替わ った可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	— ④ 10～11ページ 「あかりをつける」
	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする (「おやすみタイマー」で消灯すると 「おやすみタイマー」はOFFされます)	④ 15ページ 「おやすみタイマーの使いかた」
リモコン で操作 できない	液晶が表示しない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる ④
	液晶が表示している LED手元灯は点灯 する	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを 再度実施してください。 ④
		リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する ④
		他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、 3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、 リモコンが反応しにくくなっている	他の機器を照明器具から離す、 照明器具に対する向きを変える、 または電源を切る —
調色操作ができない	「全灯」になっている	リモコンもしくは壁スイッチ操作で 「普段のあかり」に切り替える (「全灯」は、調色操作ができません)	④ 10～11ページ 「あかりをつける」
点灯状態が 勝手に 切り替わる	「おまかせモード」がONになっている	「おまかせモード」をOFFにする	④ 13ページ 「おまかせモードの使いかた」
	「るすばんモード」がONになっている	「るすばんモード」をOFFにする	④ 16ページ 「るすばんモードの使いかた」
	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に 下記の①、②の操作を行ってください。 ①リモコンの「フタ」を開けて「リモコン 送信部」を器具に向ける ②リモコンの「チャンネルボタン」と「消 灯ボタン」を同時に押す (「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。) ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻り ますので、次ページの「上記の処置を行っ ても現象が続く場合」本体の処置②を行っ てください。また、記憶させていた普段の あかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻 りますので、設定をしなおしてください。	① リモコンのフタを開けて リモコン送信部を器具に 向ける  リモコン 送信部 ② 同時に押す 
「ビピッ ビピッ ビピッ」と 音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口 (保証書内在中) にご相談ください	
「おまかせモード」の朝・ 昼・夜モード、「るすばん モード」の点灯・消灯時刻 が設定できない	現在時刻が設定されていない	現在時刻を設定する	④ 8ページ 「リモコンの準備」
現在時刻が点滅している			
「おまかせモード」「るす ばんモード」「おやすみタ イマー」が操作できない			
現在時刻が点滅している (00:00で点滅している)	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを 再度実施してください。 ④	

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
「おまかせモード」で あかりのシーンが 切り替わらない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを 再度実施してください。	8ページ 「リモコンの準備」
	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが 動作する場所に置く	9ページ 「送信のしかた」
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	19ページ 「お手入れについて」
	常夜灯または、消灯になっている	常夜灯、消灯以外の点灯モードに 切り替える	10～11ページ 「あかりをつける」
「るすばんモード」 「おやすみタイマー」で 点灯または消灯しない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを 再度実施してください。	8ページ 「リモコンの準備」
	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが 動作する場所に置く	9ページ 「送信のしかた」
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	19ページ 「お手入れについて」
現在時刻の 変更ができない	「おまかせモード」、「るすばんモード」、 「おやすみタイマー」がONになっている	「おまかせモード」、「るすばんモー ド」、「おやすみタイマー」をOFFに してから行う	13ページ 「おまかせモードの使いかた」 15ページ 「おやすみタイマーの使いかた」 16ページ 「るすばんモードの使いかた」
「るすばんモード」が 設定時刻より早く 点灯、消灯する場合がある	「るすばんモード」をONにして、2日目以降である (より在宅を装うため、2日目以降からは 点灯、消灯時刻が設定通り、15分前、 30分前とランダムに変わります。)	設定時刻通りに、点灯・消灯したい 場合は、その日ごとに「るすばん モード」をONにする	16ページ 「るすばんモードの使いかた」

上記の処置を行っても 現象が続く場合

本体	①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる ②器具のチャンネルを変更する ⑤15ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照
リモコン	①リモコンの電池を抜き、約30分以上経ってから電池を入れる ②リモコンのチャンネルを変更する ⑤15ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順②参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

お手入れについて

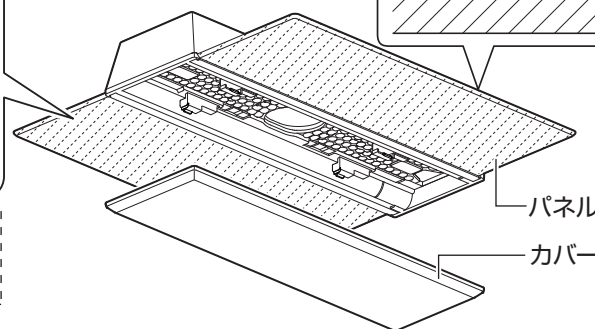
安全のため、電源を切ってから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。

パネルのお手入れ (パネルの裏面:キレイコート仕様)

- 汚れは、必ずハンディモップなどで
先にほこりを取ってから、
やわらかい布を**水**に浸し、よく絞って
湿り気のある状態で
軽くふき取ってください。

ハンディモップ
イメージ図



パネルの断面図

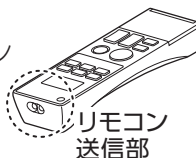
キレイコート(パネルの裏面)

パネル
カバー

【キレイコートとは】水や油をはじく効果のあるコーティングで従来素材よりホコリ
や油汚れが付きにくく、付着した場合でも、容易にふき取れます。(注1)
(注1)すべての汚れに対応できるものではありません。染料やタバコのヤニなどには効果がありません。

他の部位のお手入れ

- 汚れは、やわらかい布を**石けん水**に浸してよく絞って
からふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを
行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコン
が効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。
- ◎付属の乾電池は、最初に使用するために用意して
いるもので、半年に満たないうちに消耗する場合
があります。



確認

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、
殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
- パネルは、からぶきしたり、強く何度もこすらないでください。
発光ムラの原因となります。
- パネルの裏面にほこりがある状態でふき取るとプリズムが目詰ま
りする原因となります。
- キレイコート部(パネルの裏面)を水拭きの際は、洗剤などを使用
しないでください。コーティングはがれの原因となります。
- カバーに衝撃を与えないでください。割れや欠けの原因となります。

仕様



保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
☐ LGC38200	AC100 V	50/60Hz共用	36.5W	リモコンOFF時 1W以下 (待機時状態) 常夜灯のみ 約1W	0.38A
☐ LGC48200			41.5W		0.43A
☐ LGC58200			45.9W		0.47A
☐ LGC68200			50.7W		0.52A

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () ー
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 上記「仕様」をご参照ください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2019 - 2020

LGC38200 - T3A2

N1019 - 021020

